

## 禁煙推進委員会だより

「先ず隗より始めよ、ですが・・・」

山口赤十字病院内科 國近 尚美（禁煙推進委員）

昨年より禁煙推進委員会のメンバーに加えていただきました山口赤十字病院内科の國近尚美です。呼吸器疾患診療に携わっておりますので、禁煙活動には長年係わって参りました。

2003 年に健康増進法が施行され、第五章 第二節には受動喫煙の防止が謳われています。「第 25 条（中略）多数のものが利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならない」と記載されています。対象となる場所には、各種施設の出入口も含まれます。

また、健康日本 21（第二次）が 2013 年より開始され、そのなかで、COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、がん・循環器疾患・糖尿病と並んで、対策を必要とする主要な生活習慣病として挙げられ、「COPD の認知度の向上」と「成人の喫煙率の減少」「未成年者・妊娠中の喫煙をなくす」「受動喫煙の機会の減少」が目標として掲げられています。

目標を達成するためには、まずは身近なところから取り組む必要があります。恥ずかしながら、当院には外来用喫煙場所以正面玄関横に存在します（写真①）。そのため、禁煙治療の保険適応対象の施設基準を満たせず、2006 年に禁煙治療が保険適応になって以降は、積極的に保険診療とし



写真①



写真②

ての禁煙治療を行えなくなりました。喫煙場所以が玄関横にあることは、イメージも健康に対しても良くありません。そこで、少しでも院内の協力や理解を得たいと考え、4 年前より 5 月 31 日の世界禁煙デーに合わせて、当院も病院禁煙デーを設定し、微力ですが禁煙推進活動を継続しています。不思議なことに、その日だけは皆さん、とても禁煙に協力的で、空気の美味しい一日になります。次の目標は毎月 22 日（スワンスワン）の禁煙デーを考えています。

なお、山口県医師会や山口健康福祉センターが入居している山口県総合保健会館の車寄せのある北西側出入りに喫煙場所以が存在します（写真②）。屋根があるため風向きによっては入口までタバコのおいが充満し、とても健康を推進している施設の出入り口とは思えない有様です。

そこで、ご提案ですが、「先ず隗より始めよ」です。県医師会の先生方のご協力をいただき、喫煙場所以をなくすか場所以を移動することを検討してみるのはいかがでしょうか。

引き続き、松岡 彰 禁煙推進委員長のもと、力を結集し、県民の皆様の健康増進のため、禁煙活動の啓蒙・推進に努力していきたいと存じます。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。